今回の児童・生徒のコーナーは、白浜小学校の児童の作品を紹介します。

（敬称略）

いもほり

1年
いしいあんな

十一月十一日、いもばたけでいもをほりました。

手で、いっしょうけんめいほったりぬいたりしました。

ちゅうくらいのやほそいのもありました。

まるいのやながふといのもありました。

あかむらさきのいろでした。

あっちにいったりこっちにきたりしてたのしかったです。

ほってもほってもぬけないから、「よいしょ、よいしょ。」といったらねけておもしろかったです。

「おいしそうだな。はやくたべたいな」とおもいました。

いもほり

1年
こうごかおり

わたしは、おいもがすきです。きょうは、まっていたいもほりです。

さいしょは、小さいいもしかでてきません。ちょっぴり、がっかりしました。がんばってほっていくと、大きなおいもが見えてきました。でも、ひっぱってもとれません。いものまわりのつちをほりました。つめがいたくなりました。（もういいかな）ひっぱりました。（やった）あかいふとい大きないもが、ねっこのさきについていました。（ふしぎだなあ。いものなえをうえると、どうしてこんなのができるんだろう）とおもいました。

みんなでほったいもの山ができました。わたしはそのなかから大きなおいしそうないもをひとつもらいました。（はやくうちにかえりたいなあ。はやくたべたいなあ）大きないもをみておもいました。

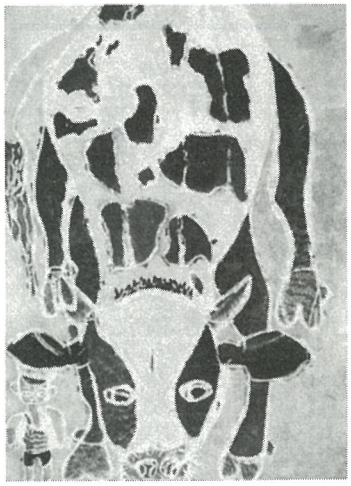
地球の音

6年
向後　忍

大きな地球
私の好きな地球
私のまわりから
地球の音が聞こえる
風の音
虫の声
海の音
「私もいっしょにうたわせて。」
大きな地球
私の好きな地球。

うし

1年
すずきしゅんいち



ユンボ

3年
いとうたかいち

ひかり俳壇

高原に牛かたまりて時雨来る　布施和代

初時雨走る園児の髪濡らす　土屋好

初しぐれ村の万屋昼灯す　鈴木都根

行秋やいとしみ植えしものを切り　椎名カツ

時雨来て辞する機会を逸しけり　越川雪枝

風の音間近に生れ時雨かな　伊藤定男

つながれし犬が尾を振る小春哉　越川せつ子

花芒風吹くままに川なりに　伊藤幸枝

雨はれて際立ち映ゆる葉鶏頭　鈴木とし子

搬入を終りし菊に夜の雨　大木静波子